

## 「普通」って何？

学校名・学年・氏名非公表

私には弟がいます。今は8歳の小学二年生です。重度の障害があり、地域の小学校ではなく特別支援学校に通っています。

生まれた時は「普通」の赤ちゃんでした。かわいくて、私もオムツを替えたりミルクを飲ませたり、一緒に遊んだりしました。でも成長するにつれ、少しずつ変だな？と思い始めました。2歳になっても喋れない。ずっと泣いている。夜中に起きて騒ぐ。服を着るのをいやがる。家族はみんな「なんでだろう。」と思いながらも「赤ちゃんはこんなものかな。」と話していました。

でも私が小学2年生の時に弟が病院に行って「障害」があることがわかりました。その事を両親から聞かされても、私には何のことかわかりませんでした。さらに弟はある日突然服を全然着られなくなりました。お医者さんに診てもらおうと感覚過敏といって普通の服を着ていても針で刺されたくらい痛みを感じるようになったらしいです。原因不明のまま服が着られないから外に出られなくなり、家族でのお出かけもできなくなりました。ずっと家で弟が痲癩を起こして泣いているからうるさくて眠れない日もありました。

1年くらい経ってやっと服を着られるようになった弟と久しぶりに家族でお出かけに行った時は嬉しかったけど、弟は奇声をあげて走り回り、順番を守るなどの簡単なルールも守れず、3歳になっているのに喋れなくて大声で泣くだけでした。そんな弟は知らない人に公園やスーパーでジロジロ見られました。それはとても恥ずかしくて、私はすぐに家に帰りたと思っていました。家に帰ってからすぐ私は母に「もう弟とはお出かけしたくない。」と言いました。そうしたら母は少し黙って「ごめんね。わかったよ。」と言って一緒にお出かけすることはほとんどなくなりました。

どうして「普通」の弟じゃなかったんだろう。「普通」の弟ならもっと一緒に遊んだりできたのにと思うこともありました。

しかし、最近の弟は「お姉ちゃん来て！」と言って私を笑顔で呼びます。毎日学校に行って、学童にも行って、こぼすけどご飯を食べて、トイレにも自分で行けます。ひらがな、数字、アルファベットも読めます。少しずつ書ける字も増えてきました。上手に喋れないけど、一生懸命してほしいことを伝えてくれる時もあります。一緒に遊んでいると変顔をして私を笑わせてもくれる我が家のムードメーカーです。苦手な事やできないことも多いけど、色んな人に助けてもらいながら「普通」に暮らしています。

けれど、家から一步出たらやはり「変な子」「普通じゃない子」という目で見られます。今の弟はその事に全く気づいていないけど、いずれ成長してからその事を知ったら今の私と同じ悲しい思いをするのではないかと心配になります。

そして私は気づきました。私も「障害のない普通」の弟が欲しいと思っていたのです。

では「普通」とはなんだろう。私自身も得意な事やできない事があります。誰でもそうではないのでしょうか。弟は苦手な事が多いだけで人に助けてもらうことによってできるが増えます。苦手な事が少し目立つだけで良い面もあるのに、他人から冷たい視線を向けられたり差別されたりするのはおかしいと思います。

だから私は、障害者差別・偏見をなくし、障害もまた一つの個性だと思う心をみんなが持つことが大切な事だと強く思います。

では差別や偏見をなくすためにはどうすれば良いのでしょうか。色んな方法があると思いますが、私は「障害」について知ってもらうことが一番だと思います。

一言で「障害」といっても色々あります。生まれた時から障害を抱えた人もいれば、病気や事故や怪我で障害者になる人もいます。歩けない人、目や耳が不自由な人、弟のような見た目では分からない知的障害を抱えた人。それぞれに違う悩みがあります。知らないから、わからないから、とって遠巻きに見るだけではなく、困った人がいたら手を差し伸べ、優しく見守ることができる人が増えたらこの世の中はもっともっと優しく、素敵な社会になると私は思います。

世界には「普通」の人はいない。みんな個性があり、生きる価値がある素晴らしい命です。

私も弟がいなければこのことに気づかなかったかもしれません。

弟がいたらいやな思いも悲しい思いもするけれど、みんなに優しくできる、みんなが生きやすい社会を作れるよう、私も前を向いて頑張っていこうと思います。